



創立153周年

6月号 (令和8年5月29日発行)

kurosho-dayori

鉄小だより



まちにふれ、土に親しみ、人から学び、ともに伸びゆく

校長 玉置 恭美



今年も、各学年で土に親しむ活動が始まりました。1年生は毎朝、アサガオに水やりをし、2年生は、夏野菜の苗の植え付けが終わり、すでに実っているナス、ピーマンを見ながら嬉しそうに登校しています。6月に入るとすぐ、3年生の梨の袋掛けや1年生のサツマイモの苗植えが待っています。全校田植えの準備として、5年生が、「塩水選」を行って種籾を選別し、育苗マットで育成を続けてきた神奈川

のブランド米「はるみ」の苗が15cmほどに育っています。ドロリンピック（代掻き）、田植えと、5年生が稲作の重要な部分を務める日々が続きます。

昨年は雨が少なく、果樹の生育にも影響が出ていると聞きます。鉄小学校の児童は、天気や気温、そして動植物の成長などにとっても関心が高く、知らず知らずのうちに知識を得ています。クリーンアップ委員会の児童が毎日とても熱心に花壇の植物に水やりをし、校内の花が元気に成長していることがありがたいです。2027年には横浜市瀬谷区でGREEN×EXPO 2027が開催されます。鉄小学校ではこの国際園芸博覧会に協力すべくた



い肥作りに取り組みます。校内の落ち葉や給食の野菜の皮などを用いて肥沃なたい肥を作り、博覧会会場の植物の生育に関わり、花や園芸について関心をもつ機会とします。鉄小の花壇の夏野菜の生育がとても良いのも、丁寧な土づくりとたい肥のおかげです。

SDGs、GREEN EXPOに関する視点は、6年生が国際平和スピーチコンテストに向けた「平和のために自分でできること」についての作文にも見られます。環境や人と人との関わりを中心にそれぞれの考えを文章とした6年生です。学級代表は青葉区予選に出場します。